

加藤 宏枝 (ひろえ) さん

●西三河支部 井戸松建設興業株式会社
代表取締役 加藤 衛氏夫人



5人兄弟の長男に嫁いだ大変さ、4世代同居の苦勞を少しもみせず「“姉さん、姉さん”と親しく呼んでくれて、兄弟や親戚が何かという集まる家に来たことが何より幸せ。」と、にこやかに語る宏枝さん。明るい笑顔がチャーミングな宏枝さんに、その暮らしぶりやご主人について語っていただきました。

【家中をお花で飾ることが好き】

夫は、酒もタバコも麻雀もしなくて、若い時からまったく道楽がない人。仕事が趣味みたいなもので、仕事さえしていれば機嫌がいいんです。私も、趣味といえるほどのことは何もありますが、花が好きなので家中を花で飾るのを楽しみにしています。もちろん庭で花を育てていますが、それ以外にも、家の近くに農家の方がやっておられる産地直売場があって、安くお花を買うことができるのでよく利用しています。趣味といえるような

ことではありませんが、おいしいものを食べに行ったり、旅行することは好きですね。

食べに行く時は本物志向で、たとえば鰻なら浜名湖、メロンなら渥美半島というように、ただ料理されたものを食べるのではなく、子どもたちが小さい時には、鰻が養殖されている状態を見せたり、メロンが栽培されているのを見せたりして、それから食事というような小旅行をよくしていました。

【お姑さんを交えての3人旅が楽しみ】

子どもたちが大きくなった今では、お舅さんが亡くなっているので、もっぱらお姑さんと3人旅行です。お姑さんは82歳ですが、おかげさまで大変元気で、つい最近も下呂に泊まって高山に行ってきました。北海道の道東、道南には既に行ったので、今年は道北へ旅行したいと思っています。

うちは、どこに行くにもほとんど3人ですが、唯一お正月だけは夫と2人きりで旅行します。これは夫の方針で、お正月には良いところは良い、悪いところは悪いと、互いに自分の人生を反省し合います。私は口は悪いのですが、やることはきちんとやるので、それは評価してくれていますね。岐阜の片田舎に、古家と田畑が少しあるので、老後はそこで2人でのんびり過ごしたいと楽しみにしています。



舵取り繁盛記

夫に望むことといっても、夜は出歩かないし、テレビも天気予報とニュース、あとドラマといえ「暴れん坊将軍」を見る程度で、本当に仕事が趣味といえる真面目な人なので、特別なことはありません。ただ何より健康が大切なので、日曜日ぐらいは仕事を休んでほしいと思っています。

お客様の都合もあるので仕方ありませんが、もう60歳も近いのですから、せめて1週間のうち1日ぐらいは仕事を休んで、身体を大切にしてほしいですね。なんといっても今まで、60歳を過ぎたら夫婦でのんびりしたいと、それを楽しみに長い間、頑張ってきたんですから。



《ご主人から奥様に一言》

うちは、先祖代々にも二にも「親孝行・慈悲・誠・堪忍」を基本にしていますが、女房もこの教えを大切に守って、本当に良くやってくれています。私は親は世の中で一番大切と思っていますから、その親を大切にしてくれる女房は、さらに大事にしなければならないと思っています。

親父が交通事故にあって以来、8年半もの長い間、親父のめんどうを良くみてくれたこともあって、女房には頭が上がりません。つくづく一緒になって良かったと思っています。だから感謝の気持ちを込めて、時々、女房の布団をひいたりもするんですよ。



【夫に望むことは健康だけ】

なにしろ大所帯ですし、3年前に次女が三つ子を出産して大忙しで、その世話を手伝ったり、毎日あわただしく過ごしています。仕事は、以前は事務処理を全部していましたが、今は嫁いだ長女や嫁がしてくれるので、ほとんど首をつっこまずに任せています。あと私が担当しているのは、行政関係の仕事くらいで、本当に助かっています。

